

## 各学校における学校運営協議会の記録⑥

今年もよろしくお願いいたします。令和7年最初のレポートは、昨年末に実施された「取手小学校」「桜が丘小学校」「藤代中学校」の3校の学校運営協議会の様子です。



### 取手小学校

1 新委員の任命

2 熟議：テーマ：取小応援サポーター制度の運用について

- 人材確保を視点を、登録制の人材バンク型で募集、組織していきたい。
- 募集の際は、分かりやすい説明を付け募集する。
- 募集は、まず地域や保護者に向けて発信し、取り組みを重ねながら修正を図っていきたい。
- 広げ過ぎずに募集し、広報の仕方も検討していきたい。
- 募集においてはセキュリティーに配慮しながら、PDCAを活用し改善しつつ、3年、5年、10年スパンで持続可能な組織となるようにしていきたい。



4 次年度に向けて

- 学校運営協議会委員の受託確認とコーディネーターの推薦について

5 給食の試食・懇談と次回の学校運営協議会の内容等を確認し終了しました。  
(12月18日実施)



### 桜が丘小学校

1 熟議：テーマ「グランドデザインの骨子について」

- まず、桜が丘小学校の先生方が実施した熟議による、次年度の学校の基本方針に係る内容と、11月に行われた市一括研修会の熟議で、委員さんから出された意見をまとめた結果を校長が伝えました。この二つに共通していたのが「心を育てる」こと、道徳教育を中心とするものであるため、校長がテレビ画面を使って自身のプランを説明しました。各委員さんは校長の説明内容に賛同し、多くの意見は出なかったものの基本方針の骨子を了承しました。



2 熟議：テーマ「見守り隊（仮称）の立ち上げについて」



- 学校と地域の連携に関して、学校が最も重視しているのが登下校の安全確保であることが話され、その点について「誰に、どのように依頼していくべきか」を熟議で話し合いました。これまでの経緯も踏まえ、自治会や老人会へのお願い、回覧板の活用などの意見が出されました。(12月18日実施)



# 藤代中学校

## 1 授業参観

○全学年の授業を委員が自由参観しました。

## 2 熟議：テーマ「令和7年度学校教育の基本方針に関して」

○校長の次年度に向けた教育方針の大まかなプランの説明後、2グループに分かれて熟議を行いました。教育目標の実現に向けて必要な視点や教育活動に関する内容を各自が付箋紙に書き出し、各グループでまとめたものを皆で共有しました。今後はこうした意見を反映させて次年度の基本方針を校長が作成していきます。



## 3 次年度に向けての協議

- 地域連携～今後の地域との連携活動について
  - ・学校支援に関する教員希望調査の結果及び今後の課題について説明し、また、中学生による地域貢献について校長から提案しました。
- 教職員の任用に関する情報交換を行いました。
- 次年度の学校運営協議会の委員の任用・推薦について確認しました。**(12月19日実施)**

# 茨城新聞で紹介されました！ 久賀小の取組

昨年12月16日(月)付の茨城新聞の第1面(!)に、「地域運営校 県内5割超『課題解決の場』期待」という大見出しで、取手市が進めている「コミュニティ・スクール(CS)」を紹介する記事が掲載されました。記事によると、文部科学省の調査では、24年度のCSの設置率は全国で約58%、茨城県は約55%に増えているとのこと。もちろん、取手市は「100%」ですね！

続く記事で、22年度から設置を始め、今年度全ての市立小中学校で設置された本市のことが書かれています。

はじめに、久賀小学校の「久賀小応援サポーター(KOS)」の取組が紹介され、コーディネーターの方の役割や幸田校長先生の「より充実した教育活動が可能になった。」「(防災は)学校と地域をつなぐテーマになる」といったコメントが記載されています。

また、石塚教育長の「子どもたちは将来、地域の担い手にもなれる」という、人材育成につながる期待のコメントも紹介されました。

さらに、いつも本市の一括研修会で講師をお願いしている、文部科学省の安斎宏之先生の、「CSの大きな役割は人をつなぐこと。」というコメントも載っていました。

茨城新聞社の記者の方が、一括研修会や久賀小学校の学校運営協議会にも来られ、取材を受けていましたが、こんなに大きく取り上げられるとは正直思いませんでした。本市が推進するコミュニティ・スクールが全県に紹介され、注目を集めることに、うれしさと同時にその期待の重さを感じています。これからも学校と地域の双方の活性化のために、皆さんとともにがんばっていきたいと思います！

♥茨城新聞の記事は、ネット上でも閲覧できますので、探してみてください(記事が削除されている場合があります)。



## コミュニティ・スクールで取り組む【学校評価】について

この「つ・な・ぐ」の第12号でもお伝えした「学校評価」と学校運営協議会の関係についてその取組を具体的にまとめてみます。

まず、第3回市一括研修会の研修でも取り組んだ、「学校評価」の一つである「学校関係者評価」と、学校運営協議会規則にある「学校の運営に関する評価」として、「協議会は、毎年度1回以上、対象学校の運営状況等について評価を行うものとする。」という評価の違いを以下に示します。この学校評価は、各学校において年度末に実施していきます。

### 学校関係者評価としての学校評価

- 学校運営協議会の委員の中から5人程度の「評価委員」を定めている学校もありますが、今年度はできるだけ全員の委員さん方で評価を行います。
- 学校は、児童生徒・保護者向けのアンケート調査などに基づいて「自己評価」した諸教育活動について、委員さん方に説明します。
- 委員は、学校の「自己評価」の妥当性やこれまでの取組について再評価します。
- ⊕ 学校は、この学校関係者評価の結果を受け止め、今後の教育活動に役立てていきます。



**今後の教育活動に反映**

### 学校運営協議会としての学校評価

- ◇ 今年度最後の学校運営協議会の場で、学校は「自己評価」及び上の「学校関係者評価」の結果を委員に示します。
- ◇ 委員は、上の「学校関係者」のような立場ではなく、あくまで校長を応援し、ともに児童生徒の育成のために取り組む一員として、学校運営に対して意見を述べます。
- ◇ さらに、「学校運営協議会」そのものの活動（話し合い・地域と学校の連携など）についても振り返り、次年度のさらなる充実のための「自己評価」を行います。
- ⊕ つまり、委員は自分も学校職員の一員という意識で学校評価を行うことになります。



**次年度の学校運営協議会及び地域連携活動に反映**

今後は、上に示した二つの方法による「学校評価」をさらによく整理して、市内の各学校において実施していきます。

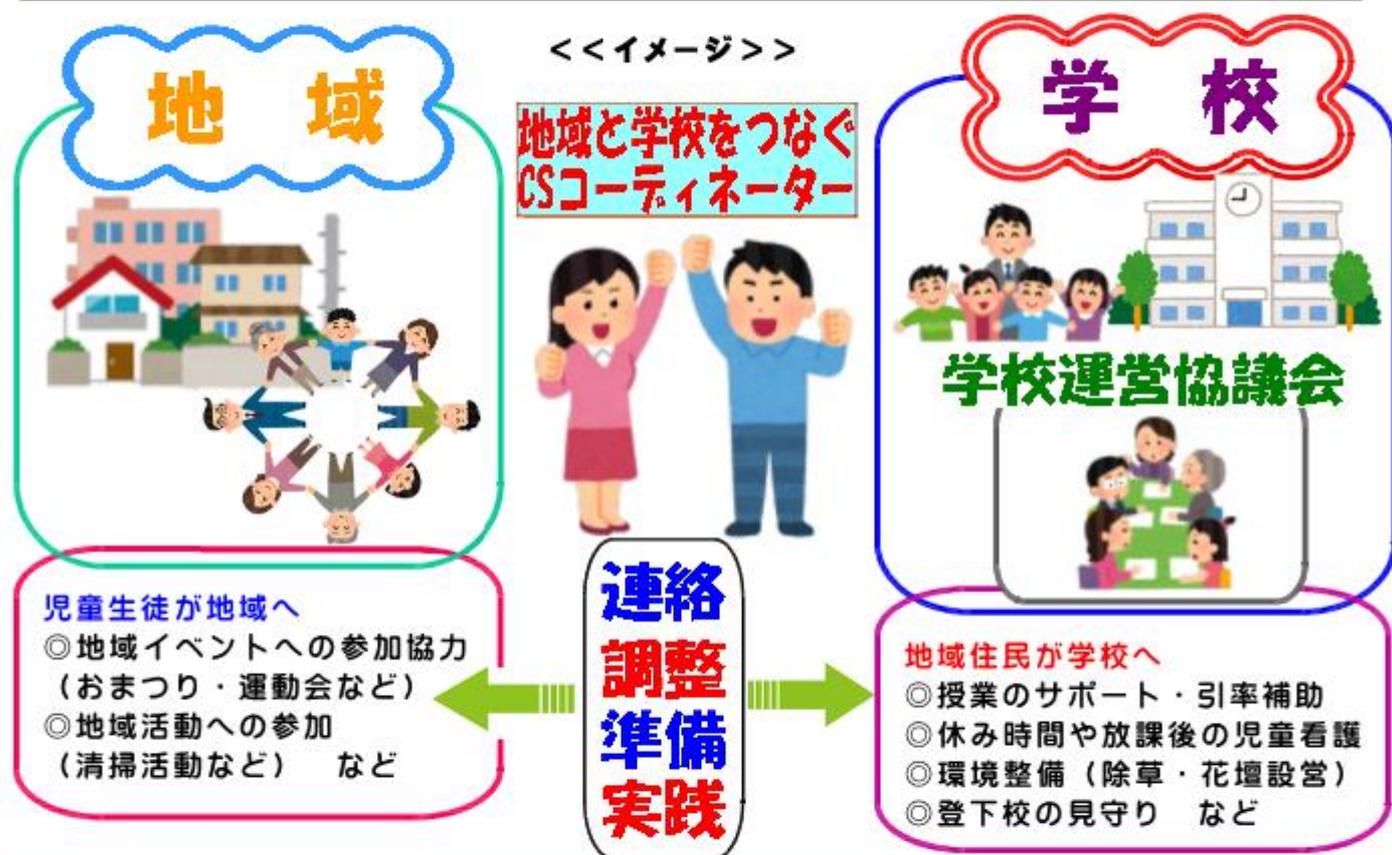
自らを振り返り、よりよい学校教育と地域との連携に努めていきます！

# CS（コミュニティ・スクール）コーディネーターのこと

これまで、この「つ・な・ぐ」の中で「CSコーディネーター」の職務などについてご紹介してきました（第5号参照）。「CSコーディネーター」とは、正式には「地域学校協働活動推進員」といいます。この「地域学校協働活動推進員」は、社会教育法に基づき教育委員会が委嘱する地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーターを指します。その主な役割は、以下のように規定されています。

## ◇ CSコーディネーターの職務（「取手市地域学校協働活動推進員設置要綱」より）

- 1 地域の教育課題解決に必要な総合的な連絡調整に関する活動
- 2 地域・学校の教育活動への支援や企画、参加促進に関する活動
- 3 地域からの情報及び提案等の学校への伝達に関する活動
- 4 地域活動及び家庭教育活動への協力及び支援に関する活動
- 5 学校運営協議会その他の必要な協議体との連絡調整に関する活動
- 6 前各号に掲げるもののほか、推進員の設置の目的を達成するために必要な活動



## 【R6年度：取手市のCSコーディネーターについて】

- ① 現在CSコーディネーターとして登録されている方は、各学校において資料作成や地域連携などの業務に従事しています。
- ② 任用に際し、年齢、性別、経験の有無は問いません。
- ③ 毎月、給与が支給されています。
- ④ 勤務は固定せず、自分の都合と学校の予定を踏まえて勤務日を決めます。
- ⑤ CSコーディネーターとして、パソコンを使う作業が多く、例えば協議会の開催通知や当日の資料、事後の報告（議事録）などの作成が業務の一つとなっています。その内容は学校（主に校長・教頭）と相談して決めています。

★興味のある方は、まずはお近くの学校へお問い合わせください。



## 各学校における学校運営協議会の記録⑦

今回は1月に実施された「六郷小学校」「戸頭小・中学校」「寺原小学校」の3校の学校運営協議会の様子をお伝えします。



## 六郷小学校

(1月15日実施)

- 今年度の教育活動を振り返って
  - 学校評価を活用した評価をしました。第2回学校評価アンケートから気になることについて委員さんから質問や意見が出され、学校側が詳しい説明などをしました。
  - 各種教育活動を振り返りました。
- 今年度の学校運営協議会について（教育活動から）
  - 今年度の教育活動の中から、地区合同運動会、イングリッシュアドベンチャー、能楽鑑賞会、学習発表会、奉仕作業等の各取組について意見交換をしました。
- 次年度の基本方針（グランドデザイン）について
  - 学校長が解説をし、委員さんから質問や意見が出され、学校側が詳しい説明をし、承認をもらいました。
- 授業参観・それぞれの学年の授業を参観しました。
- 次年度の学校運営協議会の振り返り
  - 開催時期、回数、時間帯、組織等について運営に関する（自己）評価をしました。



## 戸頭小・中学校

(1月23日実施)

- 令和6年度学校評価の考察
  - 学校評価を活用した評価をしました。アンケート結果の中から気になる項目について、委員さんから質問や意見が出され、学校側が詳しい説明などをしました。
- 熟議：テーマ「令和7年度学校運営の基本方針について」
  - 今年度の学校運営の基本方針（グランドデザイン）をもとに令和7年度学校運営の基本方針について4グループに分かれて熟議を行いました。1小1中という戸頭地区の現状を生かし、キーワード・スローガン、目指す児童・生徒像、地域との連携・協働、形式・様式等に関する内容を各自が付箋紙に書き出し、各グループでまとめたものを共有しました。
- 今後の確認について
  - 熟議で出た意見を反映させ、令和7年度学校運営の基本方針を校長が作成していきます。
  - 基本方針の承認、学校運営協議会の振り返りや運営に関する（自己）評価を行います。



## 寺原小学校

(1月31日実施)

- 学校評価
  - 学校関係者評価
    - 評価委員（5名）は、児童・保護者・教職員の学校評価アンケートの結果に基づいて自己評価した諸教育活動についての説明を受け、自己評価の妥当性や取組について評価しました。
  - その他
    - 令和6・7年度の基本方針（グランドデザイン）をもとに、今年度の反省と次年度の構想について意見交換しました。
    - 学校運営協議会の運営に関する振り返りを行いました。
- その他
  - 校長が次年度学校行事について説明し、意見交換しました。



## 各学校における学校運営協議会の記録⑧

今回は2月上旬に実施された「取手西小学校」「桜が丘小学校」「取手第一中学校」「宮和田小学校」の4校の学校運営協議会の様子をお伝えします。



## 取手西小学校



1 CS委員長より：いつも活発な意見交換ありがとうございます。5回目になると取組の道筋が見えてきています。この活動を維持継続することから、さらに連携を深め、子供のため前向きに取り組んでいきたい、との話がありました。

2 校長先生より：今日は2年目のCSのまとめと報告になります。CSの成果が表れはじめています。委員さんを学

校経営の良きパートナーとし、学校教育の維持発展ために努力していきたい、との話がありました。

3 報告・協議：①学校評価について、②地域学校協働活動について、③今後の下校の見守りについて、④委託金について、⑤次年度のグランドデザインについて、⑥CSの今年度の振り返り・教職員の任用について等の報告と意見交換をしました。事前に調査したCS委員さんの意見を含め、次年度のグランドデザインにおける方向性の承認をしました。今後につながる提言がたくさん示された意見交換活動になりました。

(2月4日実施)



## 桜が丘小学校



1 次年度教育目標・基本方針の策定に関する熟議  
テーマ「来年度のグランドデザインについて」

・前回の協議から、校長先生が作成した基本方針を示したグランドデザインをもとに、特に教育目標と具体的な取組プランについて話し合いました。委員さんからの意見を踏まえて、校長が完成させていくことで承認を得ました。

テーマ「地域見守り隊について」

・児童の登下校を中心とした安全の見守りについて、校長先生のプラン・今後のスケジュールを皆で確認しました。様々な意見が出され、次年度の取組の糧となりました。

2 学校運営協議会の運営に関する振り返り

・今年度スタートした学校運営協議会を振り返り、参加した委員さん一人ずつから発言していただきました。学校についてより真剣に、かつ深く考えていく機会となった、熟議を通して多くの考えに触れることができ、こうした取組を一般の保護者の方々にも経験してもらえたら、といったお話をいただきました。

(2月5日実施)





# 取手第一中学校

1 熟議及び意見交換：今年度のグランドデザインをベースに次年度に向けて協議しました。アンケート結果から本年度のスローガン「月曜日が待ち遠しい学校・ウェルビーイングな学校・～生徒・教職員・地域がみんな元気～」は概ね達成している状況にあること、しかし生徒一人一人にある課題に対して、個を大切にしながら、自己実現を目指す活動の充実を図るところに課題があることなどの話がありました。熟議では、①画一的でなく学ぶ楽しさを感じながら学習することができるよう教職員の資質の向上、②全国的にも増えてきている不登校生徒に対する対策をよりよく進めていくという方向性で承認をいただきました。



## 2 情報交換

- ①新制服について：令和8年4月より新制服になることの報告と、進捗状況についての説明がありました。
- ②立志式について：取手一中立志式の伝統と意義の重要性を再確認し、今の時代に即した立志式を目指し工夫・改善を図りながら実施していく方向で対応することを確認しました。**(2月5日実施)**



# 宮和田小学校



## 1 R7年度グランドデザインについての説明

- ・学校長から、前回の熟議を踏まえて本日協議していただく基本方針について説明がありました。

## 2 授業参観（約30分）

## 3 熟議：R7年度グランドデザインの追加内容について

- ・前回の熟議で内容を一部変更した教育目標「目標を持ち、チャレンジする子を育てる」と、4つの重点内容について、2つのグループに分かれて熟議を行いました。話し合いの共有場面では、県や市の教育目標にある言葉を加えること、重点内容のうち、「お互いを認め合おう」（特別支援教育の充実）と、「自分からあいさつができるようになろう」（豊かな心を育む）を組み合わせるとか、といった意見が出されました。今回の意見をさらに踏まえて、協議内容を生かした基本方針を策定していくことで承認を得ました。

## 4 その他

- ・教頭先生から学校評価の説明、また、次年度の委員継続の確認などを行いました。**(2月6日実施)**



～ 学校運営協議会の開催状況 ～

- ◆久賀小学校（2月6日実施）
- ◆山王小学校（2月7日実施）
- ◆取手小学校（2月10日実施）
- ◆取手第二中学校（2月13日実施）

「つ・な・く」では、今後も各校の運営協議会の様子をお伝えしていきます！



市のホームページも  
ぜひチェックしてください



## 各学校における学校運営協議会の記録⑨

今回は2月上旬に実施された「久賀小学校」「山王小学校」「取手小学校」「取手第二中学校」の4校の学校運営協議会の様子をお伝えします。



### 久賀小学校

- 1 学校評価について
  - ・教頭先生から学校評価の自己評価についてテレビモニターを使って詳しく説明がありました。委員の皆さんからの学校評価は、書面で提出していただく予定です。
- 2 次年度学校グランドデザインについて
  - ・今年度のグランドデザインを用いて、次年度に向けて修正や加えたいことを、3つのグループに分かれて協議しました。なるべく専門的な用語を用いず、保護者や地域の方にも通じやすい紙面にした方がよいといった意見が出されました。学校長がそうした意見を踏まえて、基本方針を策定していくことで承認されました。



- 3 今年度の学校運営協議会の活動について
  - ・コーディネーターから、今年度の活動、特に「久賀小応援サポーター<KOS>」の活動報告があり、今年度の実績を踏まえて次年度も活動の幅を広げていきたいと話がありました。委員の皆さんからは、書面で意見を提出していただくことになっています。

(2月6日実施)



### 山王小学校

- 1 学校評価について
  - ①学校自己評価：保護者・児童アンケート結果について、前期と後期の比較に焦点を当てて説明がありました。
  - ②学校関係者評価：学校の自己評価を踏まえての関係者評価→学校の評価は適正であると意見がまとまり、1項目を除いてA評価となりました。
    - ・評価の根拠ともなるので授業参観の機会を増やしてほしいとの意見がありました。→ 授業参観をさらに増やして設定する。
- 2 次年度の学校経営（グランドデザイン）について、以下承認されました。
  - ・学校教育目標について → 令和5年度～令和9年度目標「みんなでつくろう笑顔あふれる山王小」の継続
  - ・「進んで学ぶ子の育成」に「自分の思いを自分の方法で表現できる授業の創造」を追加する
- 3 今年度の学校運営協議会の振り返りと次年度の展望
  - ・毎回の開催案件に実状を踏まえた協議をしました。
  - ・地域学校協働活動の山王小〇〇隊の活動も無理なく展開した。
  - ・公民館との連携事業によって児童の活動も充実した。
  - ・次年度も今年度に準じた開催を進めたい。
- 4 教職員の任用に関して
  - ・英語スペシャリストの継続配置を要望する。



(2月7日実施)



# 取手小学校

- 1 学校評価から見える成果と課題
  - ・アンケート結果の説明があり概ね達成できているとのことでした。毎日の家庭学習、時間を意識した生活、あいさつ、読書活動、相談できる人がいるか等の質問について意見交換をしました。
- 2 令和7年度取手小学校グランドデザインについて
  - ・はじめに校長先生より令和7年度グランドデザイン案の説明がありました。そのポイントを受けて、子供や保護者の皆様に分かりやすい表現のあり方（例えば：目指す保護者像→子を支える保護者像）や、「UD」や「CS」等の注釈があればなお分かりやすい等の意見も出ました。いただいた意見を校長先生はじめ職員等で再検討し、次年度につなげていきます、との話がありました。
- 3 その他の協議事項
  - ・取小応援サポーターについて、1年間のCS活動を振り返って、CSコーディネーター募集について等の話がありました。
  - ・1年間のCS活動を振り返って、取小CSの土台作りを意識した大変有意義な活動になりました。各委員さんからも新たな視点での多くの提言があり、子供の実態に即した丁寧な活動でもありました。さらに学校を支え、共に考え・話し合うCS活動も展開できたという充実感の漂う雰囲気でもありました。その後、給食の試食もありました。次年度もよろしくお願ひします。ということで締めくくりました。



(2月10日実施)



# 取手第二中学校

- 1 学校評価を活用した学校の運営状況の評価
  - ・7月と1月実施のアンケート結果13項目のうち、CS委員が気になるところを質問することから共通理解を図りました。様々な視点で教師の視点とは異なる質問があり、今後の方向性を見極めるよい指針となりました。
- 2 次年度グランドデザイン（案）の承認
  - ・今までのCSでいただいたご意見等をもとに、校長先生はじめ教職員や、生徒会役員にも投げかけ意見を聴取して作成したグランドデザインの説明がありました。次年度の方向性を承認していただきました。
- 3 学校運営協議会運営に関する（自己）評価
  - ・回数、時期、時間帯、協議方法、内容を記入したり、16項目のチェックシートを活用して「できている、判断がつかない・もう少し等」を評価しました。今後に活かされる評価になりました。
- 4 次年度学校運営協議会の委員継続について
  - ・委員継続の確認と新規委員の紹介がありました。
  - ・地域をよく知っている方で、CSコーディネータ候補の方がいらっしゃれば推薦くださいとの話もありました。次年度もよろしくお願ひしますということで締めくくりました。



(2月13日実施)

～ 学校運営協議会の開催状況 ～

- ◆白山小学校（2月14日実施）
- ◆高井小学校（2月18日実施）
- ◆永山中学校（2月18日実施）
- ◆藤代中学校（2月18日実施）

「つ・な・ぐ」では、今後も各校の運営協議会の様子をお伝えしていきます！



市のホームページも  
ぜひチェックしてください



## 各学校における学校運営協議会の記録⑩

今回は2月中旬に実施された「白山小学校」「高井小学校」「永山中学校」「藤代中学校」の4校の学校運営協議会の様子をお伝えします。



### 白山小学校

(2月14日実施)

#### ◆ 授業参観

各学年の授業を自由に参観しました。

授業参観の中で、児童が人の発言をしっかりと聴き、相互に意見を交換し、認め合い、学び合う様子を見ることができました。また、タブレットを効果的に活用する場もあり、子供たちは、意欲的に学習に取り組んでいました。



### 永山中学校

(2月18日実施)

#### 1 学校評価

- ・教頭先生から、R6第1回2回学校評価について、生徒・保護者・教職員の評価、分析と対策が詳細に説明されました。ランドデザインの『な・が・や・まプラン』に沿って、今後もよさを伸ばしていきたい点、結果から課題としてとらえている点、今後に向けた対策が具体的に提示され、次のランドデザインにもつながる内容でした。



#### 2 熟議1「R7ランドデザイン」

- ・ランドデザインが提示され、委員から、内容がすっきりした、生徒も見るので一部を具体的にわかりやすくしてほしい等の意見が出され、委員の承認を得ました。

#### 3 「教員の働き方改革」について

- ・校長先生から、学校、教師が担う業務に係る3分類などの説明がありました。

#### 4 熟議2「地域学校協働活動の展開に向けて」

- ・永山中サポーター(案)について熟議を行いました。



地域の力を借りる。保護者や地域に対して生徒を見守る意識づけや周知を行う。防犯パトロールと分かるユニフォームや看板等工夫する。保護者が楽しめる学校づくり、奉仕作業、防災訓練などへの学校・住民ともに参加する等、協働活動が進展するための具体的取組を話し合いました。

- 5 今年度の活動の振り返り、次年度の見通しについて確認しました。



# 高井小学校

(2月18日実施)

## 1 学校長挨拶

- どんぐりっこ祭りを地域主体への道筋が作れた。
  - 校長から、感謝でいっぱいとの話がありました。
- グランドデザインについて
  - 委員からの意見で、保護者・地域の方々の理解を得やすい言葉で再編成することになりました。



## 2 授業参観

- 全学級を参観し、感想を話し合いました。児童の積極的な発言や協力し合う姿、集中度の高さ、担任の先生の寄り添い、PCの活用、髪色について他意見が出ました。

## 3 第2回学校評価アンケートの結果

- 組織目標について、豊かな心に関する質問、学力診断のためのテストについて、体力向上について、食の指導について 教頭先生の説明を受け、意見交換を行いました。

## 4 新校舎増築工事および令和7年度の児童数・学級数の見通し

- 新校舎については全館使用の見通しが立っていない。現状の特別教室を通常教室にする措置を継続せざるを得ない。→教室配置に、登校への抵抗ある児童への配慮を希望する。
- 次年度は校庭拡張と新門の設置を予定している。

## 5 学校運営協議会の1年間の振り返りと教職員のすばらしさの共有

- 初年度のCS、学校の取り組みはよかったが一括研修は負担との意見がありました。
- 委員から見て頑張る先生の姿を共有しました。



# 藤代中学校

(2月18日実施)



## 1 今年度の学校評価

- 教頭先生から、学校評価に関して保護者アンケートの結果をもとに報告がありました。次年度に向けて、課題点が明らかになりました。

## 2 令和7年度基本方針に関する説明・協議

- 校長先生から学校教育目標のもと、重点内容とする事柄について詳しく説明がありました。それを受けて、委員の皆

さんは2つのグループに分かれ、協議を行いました。家庭との連携の重要性、自ら学習に向かうための具体的支援のあり方、自己有用感や自己肯定感を高めていくための取組の重要性、地域連携を推進する上での主体的取組の必要性など、建設的な意見が多く出されました。こうした意見を基本方針に反映させていくことで承認を得ました。

## 3 地域連携～今後の地域と学校の連携活動について

- 公民館の諸活動、イベントへの中学生の参加協力など、現在までのプランを委員さんに伝えました。

## 4 今年度の学校運営協議会の振り返りなど

- その他として、協議会の振り返りについて（書面提出）、次年度の委員継続、推薦などについてお願いをしました。また、次年度のスケジュールについてもお伝えしました。



## 各学校における学校運営協議会の記録⑪

今回は2月下旬に実施された「戸頭小・中学校」「取手東小学校」「藤代南中学校」「寺原小学校」の4校の学校運営協議会の様子をお伝えします。



### 戸頭小・中学校



- 令和7年度学校運営の基本方針（グランドデザイン）について
  - 中学校・小学校ごとに校長先生から学校教育目標のもと、重点内容とする事柄について詳しく説明がありました。1小1中という戸頭地区の地域性を活かすという前回までの熟議の中でだされた内容については、戸頭地区におけるキーワードをもとに、9年間を見通した「戸頭地区学校教育目標」を中学校・小学校が基本方針の中で同じ目標を設定しました。校長からグランドデザインへの熱い思いが伝えられ、それを受けて委員さんから承認されました。
- 学校運営協議会の運営に関する（自己）評価について
  - 全5回の開催案件について教頭から説明があり、回数、議方法や内容についてご意見を頂きました。予定通りに開催でき、よかったのではないかとのお話を頂きました。
- 来年度の予定について
  - 中学校・小学校ごとに来年度の年間行事予定、学校運営協議会の実施予定等についてお伝えしました。
- 今年度の学校運営協議会の振り返り
  - 委員さん一人一人から今年度の取り組みについてご意見を頂きました。基本方針の熟議や授業参観を通して学校や子供たちの様子を知ることができましたといったお話を頂きました。



時期、時間帯、協



(2月19日実施)



### 取手東小学校

- 校長先生より
  - 「時間を守る、言葉遣い、学校をきれいにしよう」ということで学校全体で取り組んでいます。子供たちの気持ちに変化が見えてきているので、年度末のこの時期「次年度意識をもって生活すること」を伝えていきます。
- アンケート結果のフィードバック
- 今年度のCSの運営活動の反省と提言
- 令和7年度取手東小学校グランドデザイン素案の説明～創立11年目の挑戦～キーワード「挑戦と努力」等の説明があり、意見交換を行いました。頂いた意見を生かしながら、この方向性で全職員と協議し、新年度に改めてお示ししたいとのことでした。
- 諸連絡
  - 評価委員依頼の件、②新任のコーディネーター選出などの話がありました。
- 今年の取り組みについて



・今年度の熟議をとおして、方向性が見えてきています。子供たちのために、地域人材・資源の開発、保護者や地域に向けての広報・募集活動を行い、学校応援団を組織し、計画の具現を図りたい。

(2月21日実施)



# 藤代南中学校

## 1 学校関係者評価

○教頭先生から、2回実施した生徒・保護者によるアンケート調査の結果、また、学校が年度当初に掲げた各教育活動に関する数値目標の結果について説明がありました。実績を示す資料として、県学力診断のためのテストや体力テストの結果も用いて、成果と課題をまとめて委員さんに伝えました。委員さんからは、デジタル教科書の効果、コロナによる学力面への影響、集計結果の数値の低下に関する質問などが出され、それぞれ学校から回答をしました。



## 2 今年度の学校運営協議会の振り返り／教職員の任用に関する意見交換

○学校運営協議会の振り返りについては、各委員さんから文書で回答を求めました。教職員の任用に関しては、教職員の人数が不足していることへの不安が意見として出されました。

## 3 次年度のグランドデザインについて

○校長先生から、前回の学校運営協議会で話し合った内容を反映させた新たな基本方針が示されました。これまでのグランドデザインに比べ、より焦点をしぼり、より分かりやすい内容でした。委員さんからは、学校が掲げる教育目標の実現に向かって、学校・子ども・親が三位一体となって取り組んでいくことが大切だ、といった意見が出され、内容の承認をいただきました。

(2月21日実施)



# 寺原小学校

## 1 評価について

・学校評価（児童・保護者・教職員）アンケート結果及び学校関係者評価について、前回実施した評価委員（5名）による自己評価の妥当性や取り組みについて出された意見をまとめた議事録が示され、委員全員で評価内容を共有し、意見交換をしました。また、学校運営協議会の運営に関する（自己）評価についても同様に議事録が示された内容を委員全員で共有し、意見交換をしました。



## 2 地域学校協働活動について

・今年度の協議会で協議した内容をもとに、安全部・学習部・環境部を組織化していきます。また、公民館の活動団体との連携をさらに図っていきます。

## 3 学校運営協議会の活動（振り返り）と次年度の活動

・とてもよい取組ですので、各学校の成功例なども共有し、さらに効果的な運営協議会を目指してほしいと思いますといったお話を頂きました。

・次年度の活動計画（案）・委員継続の説明がありました。



## 4 令和7年度学校運営の基本方針（グランドデザイン）について

・校長先生から学校教育目標のもと、重点内容とする事柄について詳しく説明があり、委員さんから承認を得ました。

(2月21日実施)

～ 学校運営協議会の開催状況 ～

- ◆藤代小学校（2月21日実施）
- ◆永山小学校（2月28日実施）
- ◆白山小学校（3月7日実施）

今年度の学校運営協議会は、以上3校の実施をもって終了となります。



市のホームページも  
ぜひチェックしてください



## 各学校における学校運営協議会の記録⑫

2月下旬から実施された「藤代小学校」「永山小学校」「白山小学校」の3校の学校運営協議会の様子をお伝えします。今年度はこれで全ての協議会が終了しました。



## 藤代小学校

(2月21日実施)



- 1 今年度の学校評価 校長先生から学校評価の自己評価について説明があり、委員さんからはタブレット学習のことやインターネット環境などについて質問が出されました。
- 2 令和7年度基本方針の説明と承認 前回の熟議の内容を踏まえて、校長先生から基本方針の説明がありました。委員さんからは特別支援教育のあり方などについて意見が出され、内容を確認した後、次年度の基本方針が承認されました。
- 3 地域連携について 保護者や地域の方々に対して、①環境整備、②登下校の見守りの二つを重点に、募集していく方向で決定しました。また、今年度の取組についても報告があり、地域の協力・支援によってより学習活動が充実したことが伝えられました。委員さんからは、老人ホームへの訪問・交流などの新たなアイデアが出されました。



## 永山小学校

(2月28日実施)



- 1 第2回学校評価 教頭先生からの説明を受け、グループごとに熟議しました。児童の関係性がよい、温かい雰囲気での学習できている、給食の質・量・食育の充実、外部人材の活用体験活動の充実等のよさがあり、厳しい意見もあるが思い切って改革を進めてほしいという意見もありました。
- 2 令和7年度基本方針の説明と承認 学校長からグランドデザインの提示がありました。子供たちのよさをつかみ、伸ばしていく意思を確認できる内容であるとして、委員さんからの承認を得ました。
- 3 地域連携 登下校の安全確保等の課題があるため、学校運営協議会のバックアップについても再認識しました。



## 白山小学校

(3月7日実施)



- 1 今年度の学校評価 教頭先生から学校評価の自己評価について説明があり、委員さんからは概ね肯定的な意見が出されました。特に授業がよく分かるということと学校が楽しいという面について高評価が得られ、先生方の努力があるからこそという言葉をいただきました。
- 2 令和7年度基本方針の説明と承認 熟議の内容を踏まえて、校長先生から基本方針の説明があり、次年度の基本方針が承認されました。
- 3 白山サポーターについて 地域と学校のつながりをつくり、地域と学校の協働活動を推進するための「白山サポーター」の募集状況や今後の見通しについて、教頭先生・コーディネーターから説明がありました。
- 4 次年度の委員について 教頭先生から委員継続の確認と新規委員の紹介がありました。

## 取手西小学校における地域学校協働活動の紹介

コミュニティ・スクール2年目の取手西小学校では、今年度の後半から学習や行事の支援を中心とした地域学校協働活動を行う「西小スマイルサポーター」制度がスタートしました。今回は、取手西小学校のCS（コミュニティ・スクール）コーディネーターの方への取材をもとに、西小学校での協働活動の成り立ちや実践についてご紹介します。

### ステップ1 先生たちから

まず、西小の先生たちが、保護者や地域の方からどのような支援・助けを必要としているのか、アンケートをCSコーディネーターが作成し、回答を求めました。

《後日談：はじめは各学年とも希望する授業、校外学習などが限られ、数が少なかったのですが、いざ実践が始まると、子供たちの喜ぶ姿、支援をいただくことの効果などが先生方に広まり、支援の希望が増えていったそうです。》

7月の第2回学校運営協議会で、「地域学校協働活動本部の立ち上げ」について協議をしました。「できる人が、できるときに、できることを自らの意思で主体的に行うこと」を基本に、人材バンクの作成やその保管方法、募集の仕方などについて委員さん方から意見をいただきました。

### ステップ2 学校運営協議会での協議

### ステップ3 サポーターの募集

より多くの地域の人に賛同・協力していただくために、CSコーディネーターを中心にサポーター募集の仕方について考えました。まず、支援・協力していただく方を「西小スマイルサポーター」と名付け、募集要項（左）を作りました。さらに、もっと印象的な紙面にしたチラシ（左）を作成し、学校ホームページや通信アプリで保護者に配信しました。

9月下旬から本格的にスタートした募集活動は、チラシを西小学区内の自治会の回覧に混ぜてもらい（約230部）、地域の自治会館や公民館などにはチラシを貼り出してもらいました。

9月下旬から本格的にスタートした募集活動は、チラシを西小学区内の自治会の回覧に混ぜてもらい（約230部）、地域の自治会館や公民館などにはチラシを貼り出してもらいました。

取手西小コミュニティスクール

#### 西小スマイルサポーター募集!

地域と学校が協力し、子どもたちを育てるためのお手伝いをします。特別な資格がなくても、「子供たちのために何かできたら」という気持ちのある方なら誰でも活動できます。ボランティアの活動内容は以下のように様々あり、できる人ができる時に参加いただけます。

学習支援・・・学校の授業でのサポートをします

国語	書写指導、俳句・短歌指導、読み聞かせ
算数	そろばん指導
理科	観察、実験補助
社会	地域の歴史・文化などの講義、戦争体験講義、校外学習引率補
生活	町探検指導・補助、音遊び指導・補助
音楽	楽器演奏補助、実演
図工	制作補助
体育	実技補助、保健分野指導(性教育など)、体力テスト測定・記録
家庭	数珠実技補助(ミシンなど)、調理実習補助
外国語	授業補助

総合的学習支援

タブレット端末活用、PC操作補助

学校行事支援・・・学校行事でのリポートをします

運動会 準備・片づけ、裏援補助  
持久走大会 準備・片づけ、伴走・ポイント指導、教員補助  
遠足引率補助  
学習発表会・まつり 会場設営補助、教員補助

安全指導支援・・・登下校中の子供たちの安全確保の見守りです 安全指導・補助、登下校時の安全指導(30分む)

環境整備支援・・・子供の学習環境を整えます

屋外環境美化作業、花壇づくり  
屋内環境整備時など、粗大ごみ搬出

合同防災訓練

学校の避難訓練に参加・補助

取手西小コミュニティスクール

#### 西小スマイルサポーター募集



地域学校協働活動は、「学校が必要とする活動」と「地域の力」を合わせて、地域ぐるみで子供を育てる取組です。あなたの知識や経験、時間を生かして、取手西小学校と一緒に子供たちを育ててみませんか?

対象：地域の方、学生、保護者、NPO、団体等  
※活動における保証制度(保険)も準備されています  
募集期間：通年  
申込方法：取手西小へ電話、電子メール、QRコード



ご応募お待ちしております!

## ステップ4 サポーター・バンク

9月下旬から募集を始めた「西小スマイルサポーター」は、11月には24人が集まりました。CSコーディネーターは、これらの方々に

対して、さらに、それぞれ個別に、①支援・協力できる教科・学習活動、②支援できる日時などの詳しい情報収集と打ち合わせを行いました。その結果、例えば、

①の例：理科と生活科の支援／家庭科の支援／国語科の支援

②の例：仕事がシフト制なので調整可／●曜日と○曜日なら可／土日は可

といった、各自の「できること」「できる日」が明確になってきました。さらに、「家族も協力できる」「賞状書きも可」「ミシン指導が可」といった具体的な情報や、これからの連絡方法なども確認していきました。サポーターの募集に応じてくださった方は、保護者・民生委員・地域の住民など多岐に渡り、回覧やチラシを見て応募してくださった方もたくさんいました。

## ステップ5 サポートの開始

こうして学校からの支援の希望と、支援できる方の情報が整った段階で、実際の支援活動の計画を示していきました。

10月下旬は、①3年生の「本の読み聞かせ」、②5・6年生の音楽科「楽器演奏補助」、③6年生の理科「実験活動補助」の3つの実践を計画

し、計5回の支援が実現しました（左参照）。

また、11月は10月の3つに加え、「町探検サポート」「家庭科ミシン作業補助」「図工の木工活動補助」などの新たな学習活動へのサポートを募りました。「町探検」で小学生が学習のために訪問した6カ所の協力先にも、募集チラシのミニサイズ版を各15部ずつ置かせてもらうなど、少しずつ募集の範囲を広げていきました。



SMILE DAY パーティ 西小スマイルサポーター

10月の活動報告

10月は「理科の実験補助」「音楽の楽器演奏補助」「絵本の読み聞かせ」をして頂きました。  
子供たちの学びのためのサポートをありがとうございました。



《10月の支援活動の様子を伝えた学校の通信より》

こうしてスタートした「学校支援」を中心としたサポートは、11月以降も西小の先生方からの希望を受け

付けながら、継続していきました。また、その後実施された学校運営協議会の場でも、CSコーディネーターからサポートの現状が各委員さんに伝えられ、委員さんへの事前アンケートを参考に、サポートに関する協議（熟議）も行いました。

その中で、「登下校時の見守りの強化」という新たな課題も出され、これまでも児童の見守りをしていただいていた「スクールガード」の活動に加え、さらに地域住民・保護者による見守り、安全確保のお願いをしていきました。また、サポート体制の「組織化」、サポートが必要な授業の「カレンダー」（アプリ）による発信、募集とその簡易な登録の方法、PTA活動との連携のあり方など、様々な意見やアイデアが出されました。

ここから、CSコーディネーターや教頭先生の力が発揮されていきます。まず、「通学の見守り」に関しては、学校ホームページに【見守り”急募”】のPR動画がアップされます。また、学習支援のお知らせとして、カレンダーアプリを活用した【西小スマサポ ○月募集カレンダー】がホームページに登場します。サポーターだけでなく、その他の地域の方や大学生もこれを見て支援を申し出ることが可能になりました。さらに、「組織化」については、①学習行事支援部、②安全指導支援部、③環境整備部、④広報部の4つの部会が現在プランとして立ち上がっています。

紙面の都合でこれ以上はお伝えできませんが、取手西小学校のホームページにはさらに詳細な内容が伝えられていますので、右のイラストをタップするか、QRコードを読み取ってご覧ください。

## ステップ6 サポートの充実を目指して

